



フロントブレーキにニッシン製ラジアルマスターシリンダーを奢ってやった。レバータッチが格段によくなったぞ

こつこつパーツを買い集めて  
やっと準備ができたのです。



ブレーキラインにはプロトがプロデュースするステンメッシュホースの「スウェッジラインPRO」のTスタイル(3万5000円)をチョイス



## ついにセパハンを装着。 一気にカフェらしくなった。

ライザーを介するのでハンドルバーをフロントフォークに直にクランプせず、グリップ位置をトップブリッジの高さに合わせることでポジションの設定幅が広いのだ

実は低めのドラッグバーにするか最後まで迷ったんだけど、「何付ける? セバでしょ!」と林先生に後押しされて(←ウソ)セパハンに。で、コレ、実は直径22.2ミリのいわゆるミリバーだから、新たにスロットルスリーブとかレバーのクランプを装着するためスペーサーが必要だし、ケーブル逃げ用のくぼみもないから面倒ではあるけど、カスタムパーツの選択肢が広がるのでよしとした

かなりアグレッシブな  
ポジションになりました!



ご覧のような戦闘的なポジションに変身。人生初のセパハンオーナーになりました。やる気になるな~

横から見るとかなり気になるピョコーンと飛び出したメーター。いつかRSDのリロケートキットで低くしたい所存であります



メーターの出っ張りが  
チョット気になる...



いお腹をギューッと引っ込めて苦ししい思いをしながら乗りたくはないわけですよ。なもんで、ルックス的にはイケイケなセパハンでありながら実はヘタレ気味なこのハンドルが僕には最適なわけです、ハイ! ちなみにメーカー名はどこにも書いていないけど、たぶんアメリカのホワイトプロス製だと思われまます。今は廃盤になっているかもしれません。今で装着するにあたり必要なのが、インチバーからミリバーにコンバートするスペーサーとスロットルスリーブ。スペーサーはデイトナからキットが発売されていたのですが、スリーブは専用パーツがない! グーグル先生を駆使して情報を集めると、どうやら'90年代に一部のホンダ車で採用されていた物が流用できるとのことなので旧車パーツショップでスリーブをゲット。しかし誰が発見したんだろうね、この絶妙な互換性を。

さてハンドル交換のついでに、一緒に譲ってもらったニッシン製ラジアルマスターシリンダーを装着。しかしバンジョーの径がノーマルよりも小さくて合わないの、思い切ってブレーキラインを「スウェッジラインプロ」に交換。レースでも使用されるほど信頼性が高い上、金具やホースのカラーラインナップが豊富。長さやバンジョーの角度も指定できるなどカスタムにはもってこいのスケレモノなのです。ブレーキタッチもかなりよくなりました。

さて、無事ハンドル下がったわけですが、今度はやたらと高い位置に付いているメーターが気になり始めました。うーん、カフェレーサーへの星はまだまだ遠くにありて……